

認知症に関する活動計画（概要）

埼玉県作業療法士会では、地域支援の基盤強化を目指し、認知症専門研修やオレンジカフェの支援を行っている。また、認知症の人と家族の会との連携も継続しており、若年のつどいやオレンジリング絆フェスイベントに協力している。

コロナ禍において、研修はすべてオンライン研修に切り替え、地域支援は感染対策を講じながら参加を続けているものもある。このような状況下でも、支援が継続できるよう方法を模索している。

研修では、これまでの内容を検討し直し、基礎研修は新人作業療法士向けに分かりやすくし、他にも認知症のある人への作業療法について悩んでいる人が多いため、悩みを共有し解決策などをざっくばらんに話し合える研修内容に変更した。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

埼玉県飯能市では、世界アルツハイマー・デーに合わせ、毎年特別展示・講演会・映画会などのイベントを実施。これまで講師依頼があった。今年度は体操などを行う。他にもさいたま市では演奏会があり、県士会が協力し、これでいいのだバンド！が演奏を行う。

認知症の人と家族の会との連携事業

コロナ禍のため、「若年のつどい」への県士会員の派遣が難しい状態が続いているが、県内や会員が所属する職場の感染者数をみながら参加を続けている。

オレンジカフェの実施

昨年に引き続き、一部のカフェにのみ人数を制限し会員を派遣。カフェも参加人数を少なくしたり、開催時間を短縮したりしてコロナ禍に合わせた方法で実施している。



これでいいのだバンド！の水平な関係作り

当事者、専門職、年齢など関係なく音楽好きな仲間とのバンド結成。LINE等のSNSにてバンドメンバーとの繋がりは継続できている。顔を合わせた練習が難しいため、オンラインでの練習やメンバーひとりひとりの動画を組み合わせるなど、コロナ禍においても関係性の継続に力を注いでいる。

